

白布城だより 2024・冬

栃木県立真岡高等学校定時制課程

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

●巻頭言●

「人類の平和と進歩のために」

教頭 須藤 優



保護者の皆様、ならびに定時制後援会、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、深いご理解とご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、前号の白布城だよりで皆様にご挨拶申し上げてから、早いもので5ヶ月が経ちました。2学期には多くの行事がひしめいており人間的な成長のための栄養がつまった期間です。5ヶ月前にも申し上げましたが、本校での学びは授業だけでは完結しません。学校行事や特別活動は特別な意味を持って年間行事予定に配置され、すべての行事を経験することで本校の教育課程は完結し、本校のグラデュエーションポリシーを身に付けた人

材へと成長を遂げると私たちは考えています。このあと本紙上で、2学期に実施された数々の行事の様子が報告されます。同じ行事を経験しても、生徒一人ひとり、得られたものは異なります。本紙を読み進めながら生徒の成長を感じていただければ幸いです。

生徒諸君。もうすぐ令和6年が幕を閉じます。皆さんにとって「R6」はどんな一年だったでしょうか。世界では、この時期、ノーベル賞の話題が巷を駆け巡ります。今更説明するまでもないかもしれませんが、ノーベル賞は、物理学、化学、生理学・医学、文学、平和、経済学の分野で、毎年優れた業績を上げた人々に授与される国際的な賞で、創設者はダイナマイトの発明者であるスウェーデンの科学者アルフレッド・ノーベルという人物です。彼がノーベル賞を創設した背景には、彼の発明であるダイナマイトが戦争や破壊に使われ、多くの命が奪われたことへの懺悔の気持ちがあったと言われています。特に、1888年に兄のルドヴィッグが亡くなった際、フランスの新聞が誤ってアルフレッドの死亡記事を掲載した際に、「死の商人、死す」と報じたことが彼に大きな影響を与え、これをきっかけに、彼は自分の遺産を人類の平和と進歩のために使うことを決意し、ノーベル賞設立の遺言を残したのです。「人類の平和と進歩のために」という視点で2024年のノーベル賞を読み解いてみましょう。まずは平和賞ですが、核兵器廃絶への努力と、証言活動を通じて核兵器の恐怖を伝えた功績が評価され、日本原水爆被害者団体協議会が受賞したことは被爆国である日本にとって本懐が遂げられたことを意味するとともに、核兵器について世界中の多くの人々が改めて意識考える機会となりました。次に注目したいのは物理学賞と化学賞のふたつです。物理学賞は昨今話題となっている生成AIの土台となった、人工ニューラルネットワークによる機械学習を可能にする発明に対して授与されました。ともするとAIは人類を滅ぼす脅威となりかねないと、世界中の多くの科学者が警鐘を鳴らしています。アルフレッド・ノーベルにとってのダイナマイトがそうであったように、今回の物理学賞受賞者の一人であるヒントン氏も自身の研究が人類最大の脅威になりうると発言しています。化学賞はその問いに対するひとつの回答でもありました。化学賞は計算によるタンパク質設計とAIを用いたタンパク質構造予測の研究に対して授与されました。以前は数ヶ月かかっていた予測が数日、場合によっては数時間で完了します。研究者はより迅速にタンパク質の構造を理解し、新薬の開発や病気の研究に活用できるようになりました。AIの平和的利用です。これをアルフレッド・ノーベルの時代になぞらえると、ダイナマイトの発明に賞を贈り、同時にダイナマイトの平和的利用に関する何らかの発明などに賞を贈る。そのような選考がなされていたことになります。

結びに、保護者の皆様、ならびに定時制後援会、地域の皆様と生徒、職員が思いを一つに、それぞれの立場で、今できることを、協力し、実践していくことで、かけがえのない高校生活の充実、希望進路の実現に繋がると考えています。今後も皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。共に「ウェルビーイング」の実現を目指していきましょう。

■第2学期始業式



9月2日(月)記念館講堂で第2学期始業式が挙行されました。荒井博文校長は講話で「残暑厳しい最中、外ではアブラゼミやミンミンゼミがけたたましく鳴いている。一方クマゼミは生息域が西日本とされていたが、10年前に東京で鳴き声を耳にし、地球温暖化による分布域の北上問題を懸念した。県内への到達もそう遠くないかと危惧する。登山家の野口健氏によれば、『先月ネパールの村が大洪水に見舞われ、一瞬のうちに村ごとなくなってしまった。これも地球温暖化による豪雨と氷河湖決壊が原因だ。』」と話されました。続けて「ウクライナとガザ地区の紛争激化、南海トラフ地震注意情報、日経株価大暴落、自民党総裁選、米大統領選挙等、夏休みだけで世界情勢が大きく変化した。世の中に起きていることを知っておく必要がある。」と提起されました。最後に「真摯に始業式に臨む態度は、2学期もしっかりやってくれそうな期待感で一杯だ。2学期は秋の夜長の過ごしやすい季節、勉強に読書に大いに励んでみよう。」と期待を込めたメッセージを送られました。

○表彰式【校内生活体験発表会】

最優秀賞 栗田蒼生君(3年次) 優秀賞 サビオ・リンドシィ・ソトさん(1年次)、パリラ・ローズさん(1年次)

優良賞 ラケブラント・ブリジtteさん(2年次)、柴田伴香さん(3年次)、高井魅琴さん(1年次)、渡邊龍斗君(2年次)

檜山幸希君(1年次)、水上拓海君(4年次)、山口 翔君(2年次)

○定通全国大会結果報告会

1回戦を山口県代表に一本勝ちし、2回戦で静岡県代表に惜敗した檜山竜ノ介君から「全国制覇を目指して練習に励んできたの

で今は悔しさで一杯だ。この経験を今後の学校生活で生かしていけるよう頑張りたい。」と力強い報告がありました。

○生徒総会・生徒会役員任命式

議長団を千葉陽翔君・篠崎遼君(3年次)、議事報告を中尾惺君、栗田蒼生君(3年次)、旧役員紹介をパリラ・ローズさん(1年次)、新役員紹介を柴田伴香さん(3年次)が務めました。前生徒会長の小笠原颯汰君(3年次)は退任挨拶で、「大勢の前で話す等、苦手克服も念頭に立候補した。期待に応えられたかわからないが、自分を支えてくれたみなさんの協力によってなんとかやり遂げることができた。」と大任を果たした安堵感あふれるスピーチを披露しました。

新生徒会長山口翔君(2年次)は「選んでいただいたからには、前役員から託されたバトンを引き継ぎ、新役員一同で頑張っていきたい。」と決意を秘めた挨拶を行いました。

荒井校長は任命式授与後の激励の言葉で、「多くの行事の準備を役員一同力を合わせて頑張ってもらいたい。実は高校時代2期連続で生徒会長に就いた。人前でしゃべるのが大の苦手で、今でも緊張するほどだ。高校時代にその経験を積めたのは大きいし、将来君たちの財産になるはずだ。」と温かいまなざしを向けられました。

○新生徒会役員任命式

会長 山口翔君(2年次) 副会長 渡邊龍斗君(2年次)、パリラ・ローズさん(1年次)

書記 ラケブラント・ブリジッテさん(2年次)、安納りえさん(1年次)

会計 田迎菜摘さん(2年次)、藤村陽和さん(1年次) 会計監査 日下田風人君(2年次)、落合隆斗君(1年次)

■PTA 給食試食会・授業参観・進路キャリア教育3

9月27日(金)食堂で、授業参観に先立ち給食試食会が開かれました。献立は「まぐろカツ・大根とハムのサラダ・鶏団子と生姜のスープ・アセロラゼリー・牛乳」といつも通りの美味しいメニューで、保護者の方も堪能していらっしゃいました。3校時の授業参観は、1年次は数学基礎、2年次は数学Ⅰ、3年次は化学基礎、4年次は英会話の授業が行われました。

その後記念館講堂で、進学・就職に向けた在校生の意識高揚を目的に11名の卒業生を招いた一問一答形式の座談会が行われました。本年度より定時制後援会員様やお世話になっている会社様にもお声掛けしたところ、菊池透様(元本校校長・定時制後援会)、三澤幸光様(定時制後援会)、大塚一弘様(TBC学院)、木下涉様・田上様(アムテック株式会社)、海老沼理夫様(矢崎部品株式会社)、山崎博行様(県央産業技術専門学校)、篠崎勝美様(同窓会副会長)のご臨席を賜りました。

ホテル東日本宇都宮でフランス料理のシェフのA君、ヤマダ電機のBさん、ケーズデンキのC君、アムテックのD君、県央産技校で学ぶE君、はが野農業協同組合で介護の仕事をするFさん、矢崎部品のG君・H君、ホンダモビリティランドのIさん、そして神戸製鋼所のJ君・K君が勉強・仕事での苦労とやりがいについて、時には笑いやサラリーマンの悲哀も交えて熱弁を振るってくれました。A君は「高校4年間で学費300万円を貯め、昼間は働きながら東京の夜間の調理師専門学校で学んだ。仕事では先輩に積極的に聞いてメモを取るなどしよう、やる気を見てもらえる。何年後どうなりたいか、なりたい自分を考えて行動することが大切だ。」C君は「頑張らない接客、つまり対人での会話から人間関係を作る」の企業理念に感動した。知識をブラッシュアップして、日常会話につなげ、お客様から指名を受けられるようになりたい。」Fさんは「3年次祖母の介護経験から介護を志し、4年次から働き始め、自分に向いているかどうか試した。」K君は「学校と会社は別物。ユーモアを忘れず楽しみながらもしっかりとやること。自分が苦しくならないよう心掛けることも必要だ。」と、各人が貴重な体験談を語ってくると、生徒は目を輝かせて聞いていました。卒業生が努力して積み重ねている信頼は想像に難しくなく、社会人の風格さえ漂わせていました。在校生は年齢の近い先輩が社会人として活躍しているのを目の当たりにし、卒業後の進路に対する意欲が高まっている様子でした。



■人権教育

10月4日(金)記念館講堂で、「災害時における人権問題について考える」をテーマにグループ協議が行われました。村上武先生が司会進行を担当、災害発生から避難生活までの設定の元でどんな問題が発生するかを各自でまとめ発表し合い、代表者が発表しました。能登地方の2度の大災害の記憶も新しく、生徒の活発な話し合いと発表態度に頼もしささえ感じられました。

■栃木県高等学校定時制通信制秋季陸上競技大会

10月12日(土)陸上部が、県総合運動公園第2陸上競技場で開催された男子4×100mリレーで第3位に入賞しました。

○表彰 第3位(54秒49) 日下田風人君、山口翔君、渡邊龍斗君(2年次) 上野泰輝君(1年次)

■栃木県高等学校定時制通信制文化発表会



10月18日(土)栃木県教育会館大ホールで、県定通文化発表会が開催されました。生徒は9時に学校集合し、借上げバスに乗車しました。前年度まではコロナ禍により午後からの簡易開催でしたが、本年度より5年ぶりに丸一日の日程となりました。メインの第7回生活体験発表の部では、本校代表の栗田蒼生君(3年次)が「高校生になって学んだこと」と題し、はつらつとした素晴らしい発表を披露すると、万雷の拍手が鳴り響きました。昼休憩の恒例となった生徒パフォーマンスの部には、岡本歩夢君(2年次)が昨年に引き続き参加しました。トランペット独奏で「オリビアを聴きながら」「ルパン三世のテーマ」の2曲を堂々と披露すると、大歓声が巻き起こりました。荒井校長は真っ先に客席に駆けつけ見守ってくださり、抜群の発表だったとお褒めの言葉をいただきました。

○表彰 発表の部 優良賞 栗田蒼生君(3年次)

さてこの場をお借りして、定時制後援会様からバス借上げ代金のご芳志を賜りましたこと、御礼申し上げます。



■修学旅行

10月23日(水)から25日(金)まで、参加生徒8名・引率職員3名(教頭・担任・養護)の計11名が、京都・大阪方面に修学旅行に行ってきました。JR宇都宮駅に8時集合、8時33分発の新幹線で晴天の京都に到着したのは12時09分、昼食後貸し切りバスで伏見稲荷大社に移動、朱塗りの鳥居がズラリと連なる千本鳥居の圧巻の景色に心奪われました。その後清水寺に移ると、清水の舞台から眼下に京の街並みを一望し深い感動に浸りました。観光後大阪駅に移動し、夕食は大阪名物の串カツに舌鼓を打

ち、宿泊は大阪新阪急ホテルでクラスメートとの交友を深めることができました。2日目はユニバーサル・スタジオ・ジャパンで多くのアトラクションを堪能し、大満足の日となりました。3日目は大阪の文化が凝縮された難波エリアを散策し、道頓堀グルメに食い倒れ寸前の様子でした。任天堂ストア OSAKA やポケモンセンターオーサカを訪れた者も多かったです。新大阪駅を13時55分発の新幹線で出発し、17時48分にJR宇都宮駅に到着して全日程を終了しました。

栗田蒼生君(3年次)は「USJのハリーポッターライドは3時間待ちだったが、待つだけの価値があった。インバウンド客の多さと円安の関係を直に知ることができた。」中尾惺君(3年次)は「ホテルでのオートロック閉じ込め等、慣れないことに慌てたが、学校生活では学べない経験ができた。」と感想を述べるなど、思い出深い3日間となりました。



■校外学習

10月27日(金)8時本校集合、参加生徒33名・引率職員6名の計39名が借上げバスに乗り、つくば方面に校外学習に行ってきました。つくば市にある地質標本館では三班に分かれて学芸員さんの説明を聞きながらの館内見学となりました。続いて牛久大仏を拝観し、あみプレミアムアウトレットでは昼食と買い物を楽しみました。

雪印メグミルク阿見の工場見学では、二班に分かれて係の方から工場概要・製造工程の説明を受け、VRによるチーズ・マーガリン製造の視覚体験をすることができました。見学後3種のプロセスチーズを試食したり、ジュースをいただいたりと楽しいひと時でした。コンベアから流れてきた製品を見た山口翔君(2年次)は、アルバイト先のバーガーショップで使用しているチーズだと瞬時に見抜き、係の方を驚かせていました。おみやげに非売品の6Pチーズ型消しゴムをいただくと、「兄弟へのよいおみやげになる。」と、大事そうにバッグにしまう生徒もいました。無事18時40分に帰校し、思い出に残る一日となりました。黒川愛織さん(2年次)は、「楽しかった。昼食に食べたラーメンも美味しかった。」と満足気に家路に着きました。



先週に引き続き、定時制後援会様からバス借上げ代金のご芳志を賜りましたこと、御礼申し上げます。

■薬物乱用防止講話

11月1日(金)3・4校時、横浜税関宇都宮出張所の増澤望様、他1名様にお越しいただき、「税の仕事・関(せき)の仕事」と題した講演をいただきました。全国9か所にある税関は財務省の地方支分部局として置かれる国の機関であり、横浜税関の出張所とのことでした。税の仕事では、例えばミカン類の輸入について、出荷時期に当たる12月から5月については32%、その他の時期である6月から11月については16%の税率を適用して、国内における安定的な生産とその継続を確保している。また関の仕事では、多発する不正薬物の密輸事件の摘発件数は815件、押収量は2,406kgと過去最高を記録しており、国民全体に影響を及ぼす深刻な社会問題となっている等、最前線で活躍する生の話に生徒も真剣に聞き入っていました。

■校内防火防災避難訓練

11月15日(金)、地震発生後の化学室から出火の想定で避難訓練が行われました。事前に各HRで基本的な避難行動「お・は・し・も」の4原則「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」や、火災の場合はカーテンを開け、教室の出入口・窓は閉める。地震の場合はカーテンを閉め、教室の出入口は開ける等の注意点を確認しました。避難指示の報知から体育館への避難・人員確認・本部報告まで迅速な行動が取れました。

須藤教頭は講評で「リスクマネジメントは危機が発生しないためにはどうするかを考えること。クライシスマネジメントは発生してしまった危機の影響を最小限度に止めるためにどうするかを考えることだ。」と定義され、「今日通ったルートが通れないことがありうる。普段から火災が起きたときの避難経路を考えておくことが肝心だ。」と話されました。

■定時制祭

11月22日(金)多目的ホールで定時制祭が行われました。各年次に担任も加わって1～2班を作り、全6班で勝敗を競い合いました。スタートの「イントロクイズ」は曲のイントロ部分を聴いて曲名を当てるクイズです。最新ヒット曲に職員はたじろじでしたが、生徒は曲が掛かるや否や早押しで正解を連発し、盛り上がりが急加速しました。次の「お絵描きしりとり」は、1枚のホワイトボードにイラストを描いて絵をつなげるゲームです。各人の絵心や発想がわかり、バトンならぬボードをつなげるリレー効果にクラスの一体感が深まりました。続く「ジェスチャーゲーム」は、身振り手振りでお題を表現し解答者に伝え正解数を競う非言語コミュニケーションゲームで、和やかなムードに包まれました。最後にアイマスクをつけての「気配斬り」には先生方も参加しました。肥高準也君(2年次)と坂本利那君(1年次)の戦いは歴代一の名勝負だったと先生方から上がるほどで、大盛り上がりのタベとなりました。新生徒会役員初の学校行事でしたが、コスプレ衣装に変装するなどして、司会進行や運営に大車輪の活躍でした。須藤教頭から「企画運営が素晴らしかった。生徒たちもリラックスして大いに楽しんでいる様子は、本校定時制が他所に誇れるものだ。」とお褒めの言葉をいただきました。

■全校ボランティア活動



11月26日(火)秋晴れの日、鴨田修真岡西ロータリークラブ会長様、鈴木定男定時制後援会会長様を初め7名の会員の皆様にお越しいただき、昨年に続いて合同での地域連携全校ボランティア活動が開催されました。各年次毎に4つの分担区に分かれ、本校周辺の公道上でゴミ拾い、その後校門内外の落ち葉拾いを行いました。真剣にゴミを拾い歩く姿は、日頃の学校生活のまじめさが直結しており、会員様から労いの言葉をいただきながらの1時間となりました。

白布ヶ丘周辺地域を歩いて常に関心するのは、ポイ捨てされたごみがほとんどなく、地域の方の環境への意識の高さを伺い知ることができる点です。改めてこの地域は文教地区だと実感することができました。またごみを拾っていると挨拶や会釈をしていただき、「ありがとうね。私らも負けずに落ち葉拾い頑張るよ。」と、労いのお声掛けをいただくなど、恐縮至極に存じます。

須藤教頭から「今日の活動には2つの重要なポイントがある。1点目は他団体とつながりを持てたことだ。2点目は、我々人間も今日拾ったペットボトルも炭素でできている。我々の1年前の体は呼吸や排せつ等、細胞の新陳代謝により循環しているが、ペットボトルは炭素が閉じ込められてできた土に還らない廃棄物であり、地球本来の循環系を狂わしている。それを回収して、物質循環に戻してやることができたのだ。」と、専門の理科分野に基づくお話に生徒は目から鱗の様子でした。

真岡西ロータリークラブ様から、お茶の差し入れをいただきましたこと、御礼申し上げます。

■進路相談会

12月9日(月)午後4時からフォーシーズン静風で、進路相談会(ライセンスアカデミー主催)が県内の大学5法人、専門学校10法人、企業15社及び自衛隊栃木地方協力本部を集めて開催され、45名の生徒(1年次18名、2年次11名、3年次13名、4年生3名)が参加しました。人事担当者から求める人材や学習・仕事内容に関する情報を直接聞く機会を得られるとあって、順番待ちをしながらでも話を聞こうとする意欲が見られるなど、これまでの進路指導の積み重ねの成果だと実感できました。すでに進路が決定している卒年次生は、ライセンスアカデミーの青木勝美様による「社会生活に必要なマナー」と題した講習会を受講しました。また来年度からお世話になる企業担当様への挨拶を行う者もいました。貴重な外部知識の獲得に重ねて、参加した他校生からの外的刺激も受けることができ、進路実現に向けた意識付けとなった2時間となりました。



■校内体育大会バレーボール競技

12月24日(火)講堂で白熱した戦いが繰り広げられ、2学期の体育の授業を通じて培った成果が思う存分発揮されました。マツトシロ君(4年次)が体育委員長挨拶を、東斗和君(3年次)が結果発表を担当しました。多くの生徒が「楽しかった。この4か月の間每晚練習を積み重ねてきた成果が出た。クラスが団結できた。」と感想を述べるなど満足気でした。講評で須藤教頭は「今大会に向けて練習を始めた当初は、学年ごとの横のつながりだけだった。練習を通じて縦のつながりに変わってきた。卒業してもこのつながりは切れることはないだろう。それを証拠に卒業生が多数見に来てくれた。それはいい学校の証だ。定時制創立55年の伝統が受け継がれていく。」とお褒めの言葉をいただきました。

○競技結果 優勝 1年次C(小河真斗君、プエブラ・フランス君、上野泰輝君、高井魅琴さん、藤村陽和さん、日下陽貴君)
準優勝 3年次A 第3位 2年次A

■第2学期終業式

12月25日(水)記念館講堂で、第2学期終業式が挙行されました。荒井校長は講話で「好きな言葉の一つに『日々是好日』がある。直訳すれば『毎日が良い日』だが、深く考えれば『いい日ばかりでなく悪い日だってあるが、起こったことが自分にとっていいか悪いかだけで判断するのではなく、もっと広い視野で考えよう』という意味である。雨が降ると悪い日と思いがちだが、雨を待っている人、好きな人にとっては好い日であるように、ものの見方はそれぞれであり、そんな心をもって日々を過ごしたいものだ。」と話され、「みなさんにとっての1年はどうだったか。節目というのは目標を立てるチャンスだ。この休み中に来年の目標を立ててみよう。」と結ばれました。

○表彰式(皆勤賞) 日下陽貴君、菅谷翔希君、檜山幸希君(1年次)、黒川愛織さん、肥高準也君、山口翔君、横山陽斗君(2年次)
千葉陽翔君(3年次)

(芳賀郡市教育会優秀生徒)小笠原颯汰君(3年次)

□進路指導所懐

進路指導部長 小森法史



今年度は5名の就職、大学・大学校それぞれ1名、専門学校5名のそれぞれの進路が内定しました。6月初めのガイダンスを皮切りに11月末まで、継続して一人一人と真剣に対峙し指導を続けて来ました。それが奏功して良い結果によりやくたどり着けたと思います。今年度も重視したことは次の三つのことです。

- 1 全員の早期の内定を目指す。そしてそのためのプロセスを大事にする。
- 2 教員が寄ってたかって面倒を見る。(たとえ過剰なおせっかいになったとしても)
- 3 進学者には金銭的に給付等良い条件で入学させる。

以下に4年間の内定したそれぞれの学校・事業所を掲載いたします。(R3年度～R6年度の進路状況)

[大学・短大] 国際医療福祉大学、玉川大学、清泉女学院大学、鎌倉女子大学、城西大学、拓殖大学、佐野日本短期大学

[専門学校・大学校] 栃木県衛生福祉大学校、晃陽看護栄養専門学校、県立産業技術専門学校(2名)、TBC学院(9名)

[就職] 神戸製鋼所(4名)、矢崎部品ホンダビジネスユニット(4名)、J Aはが野、ホンダモビリティ茂木、YAMADA 電機 ケーズデンキ、Genki Global Dining Concepts、ダイニック、アムテック(3名)、中山産業(7名)、第一貨物 茨城食品ガーリック工業(3名)、特別養護老人ホームやまさわの里、東洋ビューティー、協和製作所

★白布の風～あとがきに代えて～

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。平素から定時制教育にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

12月10日(火)に佐藤務同窓会長様、篠崎勝美副会長様が来校され、給食と3校時の授業の様子をご覧になりました。給食時には生徒にも親しくお声掛けくださり、全校ボランティア活動で見かけた頑張りを誉めていただいたり、ご自分の高校時代の柔道部や吹奏楽部の思い出を語っていただくと、生徒の目が輝くさまを目の当たりにすることができました。

まもなく令和7年正月を迎えます。5年ぶりの奇跡の9連休をご家族・ご親戚の方と過ごされる方もいらっしゃると思います。来年度も定時制生徒の皆さんが、学校生活や進路面において各々大輪の花を咲かせることを期待してやみません。

保護者の皆様、地域の皆様、私たち教職員そして真岡高校定時制に関わる全ての方々が、つつがなく新年を迎えられますことを祈念しております。(渉外部)